

ウェブサイト紹介

当社ウェブサイトでは、
IR情報をはじめ、各種情報を掲載しております。
是非、ご活用下さい。

■リブランディング特設サイト 新しく動きだす、77年目のアツギ。



<https://www.atsugi.co.jp/new-atsugi/>



■IRサイト

こちらから当社IR情報をご覧いただけます。
<https://www.atsugi.co.jp/ir/index.html>



会社情報

■会社概要（2023年9月30日現在）

会社名	アツギ株式会社
設立	1947年12月24日
資本金	20,000百万円
本社住所	〒243-0493 神奈川県海老名市大谷北一丁目3番2号

■取締役及び監査役（2023年9月30日現在）

代表取締役社長 社長執行役員	日光 信二	常 勤 監 査 役	佐藤 智明
取 締 役 執 行 役 員	古川 雅啓	監 査 役	小川 恒弘
取 締 役	高梨 利雄	監 査 役	赤塚 孝江
取 締 役	小原 正敏	(注記) 1. 取締役のうち高梨利雄、 小原正敏、矢田真理の各氏は、 社外取締役であります。 2. 監査役のうち小川恒弘、 赤塚孝江の両氏は、社外監 査役であります。	
取 締 役	矢田 真理		

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金支払株主確定日	
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所（スタンダード市場）
公告方法	電子公告 アドレス https://www.atsugi.co.jp/ir/koukoku.html (ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

○株式に関する各種手続きについて

- ・株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社で承ります。
- ・証券会社に口座をお持ちでない株主様は、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Atsugi

第98期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

アツギ株式会社

証券コード：3529

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社グループは、2023年5月に2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』を改訂いたしました。改訂後の『ATSUGI VISION 2024』では、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を推進しております。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、「肌と心がよるこぶ、今と未来へ。」をパーパスに、「肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。」をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。こうした状況を踏まえ、赤字体質からの早期脱却と業績回復を実現するためには、限られた経営資源を中期経営計画達成に向けた事業戦略への取り組みに集中して振り向けることが目下の企業価値向上に資すると判断し、10月20日をもってスタンダード市場へ市場区分を変更いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、人流の回復による経済活動の正常化への動きにより、売上高は前年を上回る水準で推移いたしました。利益面においては、円安が進行する外部環境の中黒字体質の実現に向けて、商品価格の一部見直しを実施したことや、生産機能を中国工場へ集約し生産体制の最適化を図ったことによる製造原価の低減効果により、第2四半期に関しては、2020年3月期の第3四半期以来、約4年ぶりに四半期営業利益が黒字転換するなど、営業利益は改善傾向にあります。当第2四半期連結会計期間の営業利益は218百万円となりました。また、政策保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益315百万円、中国の連結子会社における固定資産の譲渡による固定資産譲渡益1,305百万円などを特別利益に計上いたしました。なお、中間配当につきましては、見送りさせていただくこととしたため、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なにとぞ株主の皆様におかれましては、引き続きなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

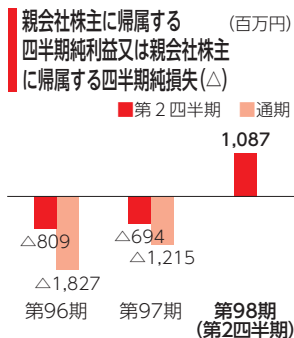
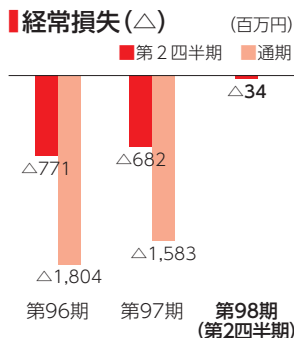
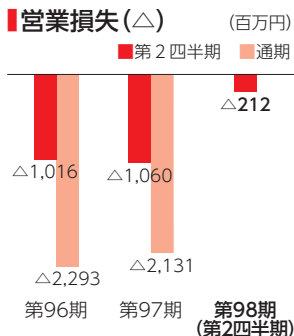
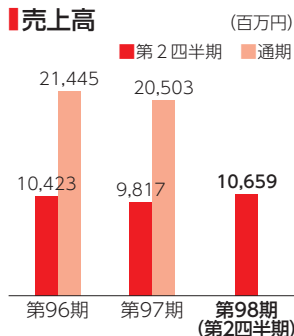
2023年12月
代表取締役社長 日光信二



決算ハイライト

■ 連結財務データ

		第97期 第2四半期	第98期 第2四半期
売上高	(百万円)	9,817	10,659
営業損失(△)	(百万円)	△1,060	△ 212
経常損失(△)	(百万円)	△ 682	△ 34
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半 期純損失(△)	(百万円)	△ 694	1,087
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純 損失(△)	(円)	△43.35	67.90
総資産	(百万円)	41,924	42,594
純資産	(百万円)	32,774	33,299



部門別売上高

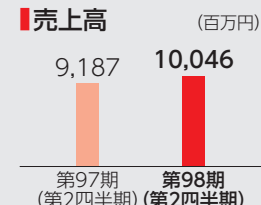
繊維事業



売上高 **100億4千6百万円**

レッグウェア分野は、商品価格を適切な価格へ見直しを行ったことなどにより、同分野の売上高は5,474百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

インナーウェア分野は、紳士肌着などが堅調に推移し、同分野の売上高は4,572百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。これらの結果、繊維事業の売上高は10,046百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業損失は411百万円（前年同四半期は1,249百万円の損失）となりました。

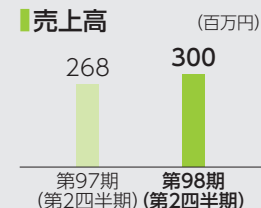


不動産事業



売上高 **3億円**

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は300百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は207百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

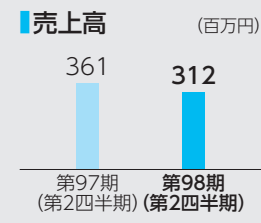


その他の事業



売上高 **3億1千2百万円**

その他の事業につきましては、太陽光発電所のケーブル盗難被害が発生し、売電売上が減少しました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は312百万円（前年同四半期比13.4%減）、営業利益は35百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。



パーパス・ビジョン制定と新コーポレートブランド戦略導入

当社は、レッグウェア・インナーウェアメーカーとして女性の生活に寄り添い続けてまいりました。お客様の価値観・ライフスタイルが大きく変容していく中で、すべての生活者の皆様に向けてより良い商品やサービスをお届けするべく、企業の存在意義と目指すべき姿を見直しました。そしてこのたび、アツギはすべての人に寄り添い、従来のレッグウェア・インナーウェアというカテゴリー

当社は、ブランド戦略の一環として、コーポレートブランドを刷新いたしました。企業の存在意義と目指すべき姿を表したパーパス・ビジョンの実現に向けて、潜在価値を創出する企業ブランドを構築し、ブランド価値向上とさらなる成長を目指してまいります。

を超えた、肌に心地よい・心に響く衣服、フィールウェア™をお届けする企業へと生まれ変わります。

パーパス

「肌と心がよろこぶ、今と未来へ。」

ビジョン

「肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。」

旧ロゴ

ATSUGI

新ロゴ

Atsugi